

全体評価 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
 「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	職員			保護者			工夫している点、課題や改善すべき点など
		はい	いいえ	その他	はい	いいえ	その他	
環境・体制整備	1 利用定員が毎時訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		13				法令に基づいた面積を確保している。
	2 職員の配置数は適切であるか	7		12	4			子ども1名に対して、平均1.5人以上配置している。 利用者から音が聞れない様に人員が揃っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		14				余計なものを置かないようにして、すっきりとさせている。 事業所設備は玄関前に段差解消の設備を設定している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの運動の自覚した空間となっているか	7		14				毎日そうじをして空気清浄機2台を使用。 毎日の清掃にこわえ、月に1回空気清浄機の清掃等を行っている。おもちゃ等も専用の後の袋外清掃用を徹底している。 活動の後の清掃を徹底している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	7		-				何か問題点があればミーティングなどで提案し、話し合っている。参加できない場合は記録を見て共通認識を持つ様になっている。 利用者ごとの目標や課題、その他の留意事項を職員間でミーティングや文書を用いて共有している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		-				
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		-				
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7		-				第三者による外部評価は今後検討する。
	9 職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		-				ABAの研修等不定期であるが行っている。 ABAの研修は必要に応じて適宜行っている。（基礎研修が終わったため）
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		-				自社独自のアセスメントツールを使用してアセスメントを実施し、課題を設定している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		-				利用開始時および、最低でも半年ごとにアセスメントを行っている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		12	2			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		-				計画を見て日々の教育プログラムを組んでいる。 支援計画を作成する際には、個々の課題表を作成している。原案からスタッフ間で確認して意見ももらっている。
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		-				みんなで話し合い、必要なことをいれている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		-				お子さんのスキル向上に伴い、随時プログラムを更新している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		-				個別と小集団での課題設定をそれぞれ行っている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		-				朝礼時に確認している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか	7		-				課題の取り入れ方や開わり方を確認して変更があれば情報交換している。
	19 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		-				支援記録は全職員・保護者が見られる形で保存している。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		-				個別支援計画作成前に必ずモニタリングを行わない判断している。
	21 障害児福祉支援事業所のサービス利用がその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	7		-				管理者と児発管で話し合い適切に対応できる様に配慮している。
	22 母子保護や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		-				
	23 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等支援している場合」地域の保健、医療、障害福祉、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7		-				医療的ケア見がない。 対象者はいないが、園や学校等とも連携する様に心がけている。
関係機関や保護者との連携	24 「医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等支援している場合」子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	7		-				医療的ケア見がない
	25 移行支援として、保護所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		-				
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		-				小学校への情報提供を行なっている。今年度は小学校において職員研修を行なった。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		-				必要に応じて連携できるように心がけている。
	28 保護所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	8	6			子供達が交流する機会は設けていない。 事業所としての機会はないが、利用者が通っている園と連携している。
	29 「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	4	3	-				機会があれば参加したい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		-				日々の支援日誌を保護者と共有することで共通理解できていると思う。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	7		-				ペアレントトレーニングを基本とした療育サービスを行なっている。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		14				契約時に読み合わせを徹底している。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		12	2			個別支援計画の同意を得ている。
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		13	1			日々保護者とお話の時間をとり確認している。 何かあれば専用アプリやラインで連絡をしてもらい対応している。 お知らせをしても参加されない方もいるので、参加しやすい状況作りを工夫している。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		13				親の会を設け、毎月茶話会を実施している。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		13	1			日々保護者とお話の時間をとり確認している。 何かあれば専用アプリやラインで連絡をしてもらい対応している。 ズームでの相談の機会も備えている。 参加されない方もいらっしゃるため、参加しやすい状況作りを工夫していきたい。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		11	2			会報ではないがLINEでお知らせ等を発信している。インスタグラムで不定期に発信を行なっている。定期的な発信を行えるように体制を作って行く予定で。
	38 個人情報等の取扱いに十分注意しているか	7		12	1			職員には秘密保持契約研修を実施して、秘密保持契約を取り交わしている。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		12	2			コミュニケーションのやり方を課題に入れて取り組んでいる。言葉の不出いお子さんにはPECSを導入している。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	-				同じ建物で遊園地を行なっている。 地域住民を招待する様な活動はしていない。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		7	7			職員研修は行い、マニュアルを策定して共有しているが、保護者への周知が不十分と思われる。専用アプリで保護者と共有したい。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		8	4			年間計画に沿って行なっている。 保護者への周知が不十分と思われる。実施の際には保護者にわかるように通達を行うこととしていく。
	43 事前に、搬送や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		-				対象者無し
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応しているか	7		-				基本親子通所であり食事は提供していないため対象者無し。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		-				ヒヤリハットは必ず話し合った上で作成している。	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		-				虐待防止研修を行なっている。	
47 どのような場合やむを得ず身体拘束を行うかについて、給付を決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		-				身体拘束適性化研修を行なっている。今のところ、身体拘束の事例はない。	